

## 夏休みエコ学習トランク環境講座

主 催：宇部市地球温暖化対策ネットワーク

共 催：宇部市環境共生課

日 時：8月5日（水） 第1回（午前の部） 10：30～12：00

第2回（午後の部） 13：30～15：00

会 場：宇部市立図書館 2階 講座室

参加者：第1回 28名（子ども 14名・大人 14名）

第2回 29名（子ども 11名・大人 18名）

スタッフ 3名

講 師：第1回 野村・杉野

第2回 河野・中

配布資料： アンケート

地球温暖化ってなあに？

エコリユクスなライフスタイル

宇部市地球温暖化対策ネットワーク パンフレット

記念品： 子ども エコバッグ、ポケットティッシュ

大人 水きりネット、ポケットティッシュ

（(有)永谷テレビサービス、宇部興産(株)、宇部市自転車商協同組合提供）

掲示物： 夜の地球 ポスター

月周回衛星「かぐや」撮影：地球の出 ポスター

展示物： コップカー（電池の手作りおもちゃ、(株)ニシマル提供）

環境ポップアップ絵本（コニカミノルタ HP より）



説明用ボード9（エコロくん）



説明用ボード2（CO2 実験）

アンケート集計（回答数 第1回：21、第2回：18 計39）

【エコ宣言】を、お願いします。

（これからやろうと思うこと、すでにやっていること）

	宣 言		第1回	第2回	計	合計
1	買い物は、省エネ商品をえらぶ。		11 7	12 1	23 8	31
2	買い物は、マイバッグを 持っていく。		3 18	5 13	8 31	39
3	近所へのおでかけは、歩くか 自転車で。		7 12	9 6	16 18	34
4	ゴミをきちんとわけて、ゴミをへらす。		5 15	7 9	12 14	26
5	エアコンの温度を、 下げすぎない・上げすぎない。		6 15	9 6	15 21	36
6	むだな電気を、こまめに消す。		10 11	10 7	20 18	38
7	エコについて話をする。		12 6	7 3	19 9	28
8	他にも、やろうと思われることがありましたら、お書きください。 <div data-bbox="284 1131 379 1169" data-label="Section-Header"> <p><b>第1回</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TV ゲームの時間をへらす。</li> <li>・なるべくエスカレーター、エレベーターは使わない。</li> <li>・なるべく旬の物を買う。（やさい・くだもの）</li> <li>・電気をこまめに消すようにする。</li> <li>・損して得するようにする。</li> <li>・エコについてたくさん知るようにする。</li> <li>・充電できる電池を使うことにします。</li> <li>・照明器具を換える。</li> <li>・主電源を切る。（特にテレビ）</li> <li>・エコキュート、太陽光発電を勉強している。</li> <li>・ばいすてをしないで、ゴミばこにちゃんとすてる。</li> <li>・食べものをそまつにしない。（もやさないでいいから、CO2 がへる）</li> </ul> <div data-bbox="970 1337 1361 1599" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1125 1599 1209 1624" data-label="Caption"> <p>【#1-102】</p> </div> <div data-bbox="284 1780 379 1818" data-label="Section-Header"> <p><b>第2回</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化運動（植樹、屋上菜園、壁の緑化）、グリーンカーテン</li> <li>・プラスチックの分解 灯油、軽油 燃料に</li> <li>・外の光があかるかったら、おふろのでんきをけす（2件）</li> <li>・服などをリサイクルする。</li> <li>・手作り 石油製品を購入するより作れる物をつくる。</li> <li>・緑のカーテンを来年は作る。</li> </ul>					



環境対策、経費削減、障害者の自立支援

# 「石三鳥」の市代替バス

## 全国初100%バイオディーゼル燃料

宇部市は三月から、小野地区を中心に運行している市代替バス（コミュニティバス、四十二人乗り）を、食用廃油のりサイクル製品「バイオデ

イゼル燃料」だけで走らせている。定期バスでの100%使用は全国初のケース。市総務課によると、導入は環境対策が主目的だが、本来の燃料である軽油価格が高騰する中で年間約七十万円の経費削減にもつながるといふ。

代替バスは一九八五年、民間事業者の撤退に伴って市が直営（施設管理公社）で運行をスタートさせた。車両は一台。

市営バスが国道490号沿いを南北に走るのに対して、小野、厚東、二俣瀬地域を東西方向を中心に巡回する八系統十一便があり、地元住民の生活に欠かせない貴重な移動手段となっている。

バイオディーゼル燃料は、ディーゼルエンジン用の燃料。ディーゼルエ

ンジンは十九世紀末の開

発当時、植物油（ピーナツ油）を使っていたが、不純物の多さなどを理由に、間もなく利便性と経済性の高い軽油へと移行した。環境問題が深刻化した近年は逆に、食用廃油や植物油が原料のバイオディーゼル燃料が注目を集めている。

市が購入しているのは、東岐波の知的障害者更生施設、日の山のぞみ苑で生産されている燃料。二月に試験運行したところ、燃費やパワーが軽油と変わらなかった。全国では各地でごみ収集車などの公用車に使われているが、リサイクル燃料100%のバスは宇部が初の試み。地下資源ではないため、二酸化炭素の排出量削減も期待され

市総務課の試算では、

一歩当たりの価格は軽油が百二十一百三十円、バイオディーゼル燃料が八十四円。代替バスの走行距離は一日約二百一十キロで、一年間の燃料代が二百二十万から百五十万円に下がる。環境面や財政面での効果に加えて、障害者の自立支援も同時に



代替バスにバイオディーゼル燃料を入れる職員（市交通局で）

宇部日報  
2008年3月6日

図れる「石三鳥」の効果をもたらしている。（渡辺）